



平成23年度から深夜を含め毎日巡回活動を行っている青色防犯パトロール

ひったくり・自転車盗・詐欺 あなたの注意が身を守る

市川市の防犯対策

防犯まちづくり条例の推進

「市川市防犯まちづくりの推進に関する条例」により、市、市民、自治会等、事業者の役割と市の基本的な施策を定め、地域全体で防犯活動への取り組みを進めています。

防犯まちづくりモデル地区事業

小学校区ごとに防犯モデル地区として選定し、関係者が協働して防犯に配慮した環境の整備・管理を含めた地域における防犯まちづくりの促進を図っています。これまでに鬼高小学校区、曾谷小学校区、福栄小学校区、稲荷木小学校区を選定しています。

青色防犯パトロール推進事業

平成23年度は青色防犯パトロール専用車両4台中3台を委託化し、犯罪が多発する深夜時間帯に合わせ、毎日午前1時までパトロールを行って、犯罪の抑止と市民の体感治安の向上に努めています。民間団体に対しては、研修会や合同出動式の開催により防犯意識の高揚を図るとともに、新たに活動する際には支援を行い、市内のパトロールの強化を図っています。

防犯カメラの届け出受理・管理運用

「市川市防犯カメラの適正な設置及び利用に関する条例」に基づき、公共の場所に向けて防犯カメラを設置する団体の届け出を受理するとともに、運用状況について公表します。

街頭防犯カメラの維持管理事業

平成17年度から22年度にかけて設置された234台の街頭防犯カメラの維持管理を行いながら、ハード面から街頭犯罪の抑止と市民の体感治安の改善に努めています。

地域の安全を守る活動にご協力を

ボランティアパトロールに登録を

ジョギングや買い物などで外出する際、オレンジ色の帽子を身につけてパトロールを兼ね、犯罪の抑止にご協力いただけます。また、活動中に挨拶を励行していただいて地域コミュニティの醸成を図り、防犯に強いまちづくりにご協力いただけます。

対象 市内在住・在勤・在学の18歳以上で、週1回以上活動できる方

申し込み 市役所防犯課、行徳支所総務課、大柏出張所、南行徳市民センターで住所・氏名・連絡先等を登録し、傷害保険に加入(費用負担はありません)

5人以上の団体に防犯物品を提供

市は、懐中電灯や拡声器など、地域の安全を守る活動に必要な防犯物品を自治会や町会に提供しています。これに加え、自主的に防犯活動を行う5人以上の団体に対しても、構成員の人数に応じて防犯物品を提供しています。

対象 市内在住・在勤・在学の5人以上で構成される自主防犯活動団体

提供品 帽子、腕章、たすき、蛍光ベスト、赤色停止棒、拡声器、拍子木、のぼり旗、のぼり旗用ポール、懐中電灯(構成人数に応じた限度額の範囲内で選択)

申し込み 「市川市自主防犯活動団体届出書」に構成員・実施計画・防犯物品譲与申請書を添えて市役所防犯課

自主防犯活動の支援

自治会等で防犯パトロールなどを実施している自主防犯活動団体に対し、防犯物品の無償貸与を含めた支援を行い、活動の更なる活性化を目指しています。

防犯協会との協働

市川防犯協会及び行徳防犯協会と協働して、防犯指導員に対する研修や犯罪発生情報の提供、並びに防犯協会の組織の充実・活動の活性化を図っています。

ボランティアパトロール

ボランティアの登録者にオレンジ色の帽子を貸与し、買い物や散歩、外出の際に身につけてパトロールの役割を担っていただき、犯罪の抑止と防犯意識の向上、地域コミュニティの醸成を図っています。

犯罪情報の提供

警察からの情報提供に基づき、市公式Webサイト(ホームページ)へ掲載しています。また、市川市メール情報サービスでも配信しています。

ひったくり

昨年、千葉県内のひったくり被害件数は2,188件で、大阪府の2,136件を上回って都道府県別で全国ワースト1位という結果でした。特に高齢者や女性などが狙われやすく、金品を奪われるだけでなく、転倒して大けがを負うケースも出ています。自治会や警察、行政が力を合わせてひったくり対策に努めていますが、それだけでは限界があります。自分は被害に遭わないだろうと思わず、日頃から注意を怠らないようお願いします。

- バッグなどはタスキ掛ける
- 荷物は道路と反対側を持つ
- 背後でのバイク音などに対し振り向く
- 自転車運転時、前カゴにカバーをする



振り込め詐欺

電話をかける人とお金を取りに来る人が違ったり、慌てさせて冷静になる間を与えない、キャッシュカードをだまし取るなどの手口が増えています。警察や銀行員が自宅にカードや現金を取りに来ることはありません。十分ご注意ください。

- 不安を感じたら、相手が名乗った家族や警察、金融機関などへ連絡し、事実を確認する
- 詐欺だと判明したら、直ぐに110番通報する



自転車盗

犯罪の中でも最も多発しているのが自転車盗です。昨年の市内刑法犯認知件数6,508件のうち、28.9%1,883件を占めています。このうち約4割が無施錠で被害に遇っています。自転車の利用に当たっては、次のことに気をつけてください。

- 駐輪時は、複数の鍵をかける
- 路上駐輪はせず、指定された駐輪場所を利用する



義援金詐欺

東日本大震災への義援金に関し、皆さんの善意を裏切る卑劣な詐欺が横行しています。その主な手口は、

- 市役所職員を名乗り、一般家庭を訪問して直接現金を受け取る
- 実在する募金団体名をかたってFAXで勧誘文書を送り、指定口座に振り込ませる
- 「東京地震情報局」なる架空団体や市役所の職員を名乗って電話を掛け、指定口座に振り込ませる

などが報告されています。電話があったところへ募金するといった受動的な対応でなく、職場や公共機関を通して能動的に募金して頂くようお願いします。

機敏な対応で安全支える移動交番 市川・行徳の各警察署に配備

事件や事故の発生が多い地域や、既存の交番から遠い地域などを専用の車で巡回する移動交番。昨年度までは市川警察署のみの配備でしたが、今年4月から行徳警察署にも配備され、機敏な対応で地域の安全を支えています。

移動交番に関するお問い合わせは

- ☎370-0110 市川警察署地域課
- ☎397-0110 行徳警察署地域課



地域に安全・安心を届ける移動交番(南行徳公民館)